

腎臓グループ

所属メンバー

- ・岡本 孝之 (助教、平成 15 年卒)
- ・佐藤 泰征 (大学院生、平成 16 年卒)
- ・山崎 健史 (大学院生、平成 17 年卒)
- ・林 麻子 (大学院生、平成 18 年卒)
- ・佐々木 聡 (客員研究員、昭和 61 年卒)

外来患者数 316 人/年 (のべ)

入院患者数 45 人/年 (のべ)

特色ある診療内容

関連病院腎臓外来 道内主要関連病院

腎生検診断 33 例/年

腎不全(保存期及び透析患者)・腎移植関連患者 20 例/年

研究内容

<臨床>

- ・全国多施設研究による小児難治性腎疾患（ネフローゼ症候群、IgA 腎症、ループス腎炎）の治療法開発
- ・小児保存期腎不全管理と腎移植治療

<基礎>

- ・ネフローゼ症候群・糸球体硬化の進展機序解明と治療法開発に関する基礎的研究

発表論文（原著、症例報告、総説）

1. 佐藤泰征、佐々木聡、岡本孝之、山崎健史、岡本孝之、三井貴彦、守屋仁彦、森田 研、早坂 格、植竹公明、外木秀文、太田 亨、野々村克也、有賀 正：腎尿路奇形および腎結石を認めた Sotos 症候群の 1 例. 日本小児腎不全学会雑誌 32: 258-260, 2012
2. 山崎健史、佐々木聡、佐藤泰征、岡本孝之、森田 研、野々村克也、有賀 正：ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の初発寛解導入治療中に急性腎不全に至った 1 例. 日本小児腎不全学会雑誌 32: 302-304, 2012

3. 佐々木聡：[小児疾患の診断治療基準]、腎性尿崩症. 656-657, 2012
4. 林 麻子、早坂 格、鈴木秀久、小林徳雄、佐々木聡：漢方薬の関与が考えられた薬剤性膀胱炎の2例. 日本小児腎臓病学会雑誌 26: 82-87, 2013

学会発表（全国学会・地方学会）

1. 佐藤泰征、岡本孝之、林 麻子、山崎健史、佐々木聡、有賀 正：最近 10 年間の小児期発症特発性膜性増殖性糸球体腎炎に関する検討. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会、東京、2012
2. 山崎健史、岡本孝之、林 麻子、佐藤泰征、佐々木聡、有賀 正：内科へ移行した全身性エリテマトーデス患者に関する問題点の検討. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会、東京、2012
3. 佐藤泰征、岡本孝之、林 麻子、山崎健史、有賀 正、佐々木聡：学童期に発見された腎機能低下を伴った先天性腎尿路奇形の5例. 第 22 回北海道小児腎臓病研究会、札幌、2012
4. 山崎健史、岡本孝之、林 麻子、佐藤泰征、中島泰志、佐々木聡、森田 研、野々村克也、有賀 正：typical HUS を発症後に末期腎不全となり、献腎移植を受けた一例. 第 34 回小児腎不全学会学術集会、神戸、2012
5. 林 麻子、岡本孝之、山崎健史、佐藤泰征、佐々木聡、森田 研、野々村克也、有賀 正：不完全寛解 II 型に至ったが、蛋白尿増悪を来し血液浄化療法を施行した難治性ネフローゼ症候群の一例. 第 34 回小児腎不全学会学術集会、神戸、2012
6. 佐藤泰征、岡本孝之、林 麻子、山崎健史、有賀 正：小児期膜性増殖性糸球体腎炎の臨床病理学的特徴. 第 67 回北海道臨床腎臓研究会、札幌、2012

学会活動（委員会委員など）

日本小児腎臓病学会代議員・総務委員、統計調査委員会末期腎不全調査委員(佐々木聡)

小児難治性腎疾患治療研究会北海道地区世話人(佐々木聡)

小児 IgA 腎症研究会幹事（監事）

北海道小児腎臓病研究会会長（佐々木聡）

北海道臨床腎臓研究会幹事（佐々木聡）

北海道腎フォーラム幹事（佐々木聡）